

障害者スポーツにおける アンチ・ドーピング

国内競技団体の 今後の役割

(公財)日本障害者スポーツ協会
日本パラリンピック委員会
安岡 由恵

2013年3月5日

この講義の内容

1. 教育・啓発活動への関わり
2. 検査の実施
3. 使用薬物調査・TUE申請手続き
4. JADAへの直接加盟

1. 教育・啓発活動への関わり

**競技者の近くに、
アンチ・ドーピングの教育が
できる人がいることが重要！**

1. 教育・啓発活動への関わり

1. 競技団体内での教育・啓発活動を行う
*JADAとの調整はJPCが行う
- ・ JADAからの印刷物の配布
・ 講習会の実施
(JADA及び競技団体のアンチ・ドーピング担当者が講師)
- ・ アウトリーチ(教育啓発ブース)の実施
- ・ 使用薬物調査
- ・ アンチ・ドーピング部会との調整
- ・ 選手/コーチの相談窓口

1. 教育・啓発活動への関わり

*JPCはJADAとの調整を行う

JADAからの講師
+

JPCのアンチ・ドーピング担当者

JADAからの講師
+

競技団体のアンチ・ドーピング担当者

競技団体のみでの講習会

1. 教育・啓発活動への関わり

教育・啓発のための資料

1. 各種印刷物
2. JADAサイト上の教育用素材

視覚障害のある参加者のための資料

1. ドーピング防止ガイドブックのテキスト版
2. ドーピング防止ガイドブックテキストの
拡大文字版(ゴシック16ポイント)
3. ドーピング防止ホットラインの点字版

情報はサイト上で！

アンチ・ドーピングを知る
Play Trueひろば

Androidアプリ ▶
ドーピング防止
ガイドブック

WEB ver. ▶

ポットポット Eラーニング
Real Winner

ドーピング検査手順 For Athlete
動画を見る ▶

情報はサイト上で！

アスリートに必要な手続き

- * 検査対象者登録リスト (RTP)に
含まれるアスリート
- * 居場所情報の提出 (ADAMS)
- * TUE申請の手続き

2. 検査の実施

ドーピング検査が必要な理由

大会がクリーンであることを証明する

↓

大会のステータスを向上させる

↓

公認大会では必須

2. 検査の実施

* JPCIはJADAとの調整を行う

NFレプとして
検査が円滑に実施できるように
準備や調整作業を行う。

* DCO:ドーピングコントロールオフィサー(検査員)

2. 検査の実施

NFレプの役割

1. ドーピング検査キットや荷物を
ドーピングコントロールステーションに運ぶ
2. ドーピングコントロールステーションの設営
3. ドーピング検査用トイレの設営
4. リードDCO、DCOとの顔合わせ。
5. シャペロンの紹介
6. 大会運営状況 (スタートリストや棄権者情報)
などのDCOへの伝達。
7. TDがいる場合はドーピング検査に関する情報の
提供 (リードDCOの補助的役割)。

2. 検査の実施

NFレプの役割

8. DCOへの弁当の配布。
9. DCOへの旅費・謝金、シャペロンへの謝金の
支払い、領収書の管理
(大会ごとに異なるためJPCからの指示に従う)。
10. 残キットの送付
11. リードDCOより検査用紙を預かり、
封を切らずにそのままJPCに郵送する。
12. ドーピングコントロールステーションの片付け
(ゴミ処理)。

2. 検査の実施

検査費の概算

検体分析料金 (通常対応)	¥90,000/検体
DCO派遣経費 (謝金及び旅費)	リードDCO ¥15,000 DCO ¥13,000×人数 旅費実費
シャペロン謝金	¥5,000×人数
ドーピング検査室使用料	実費
検体及び検査関連物品運搬料	実費
その他経費 (検査キット及び公式記録書、飲料費等)	実費

助成金を利用すると、競技団体は費用合計金額の**1割負担**で検査を行うことができます。

3. 使用薬物調査・TUE申請手続き

- ・ 該当国際競技団体 (IPSF) のTUE申請書/申請先の確認
- ・ 禁止物質を含む薬物を使用している選手への助言
- ・ アンチ・ドーピング部会との調整
- ・ TUE申請書を提出先に発送
- ・ 結果を選手に確認・結果の管理
- ・ 承認書を関連団体に送付 (JADA・IPSF等)

4. JADAへの直接加盟

状況を見ながら直接加盟を奨める

JADAから直接の情報を得ることで、**アンチ・ドーピングムーブメントの拡張を図る**

4. JADAへの直接加盟

将来的なイメージ

